

■加藤まり香氏



陶芸作家。京都の伝統工芸・清水焼で食器をメインに制作している。スポイトに詰めた泥を絞り出して作品に描いていく装飾技法「イッチン」を用いて繊細で優しい雰囲気の商品を作り続けている。釉薬作品は独自に研究を重ね、見たことのないような色合いや質感を目指している。

1989年宮城県生まれ、2013年京都府陶工高等技術専門学校成形科総合コース修了、その後岐阜県土岐市の製陶所にてデザイナー兼職人として勤務。2017年京都市産業技術研究所陶磁器コース修了、2018年京都市産業技術研究所陶磁器応用コース修了。受賞歴として2017年京都市産業技術研究所伝統産業技術後継者育成研修合同修了作品展京都市長賞、2019年京焼の未来展奨励賞（同2020年）がある。日本橋三越、京都高島屋、阪急うめだ本店、京都伊勢丹など国内百貨店やギャラリーを中心に展覧会を開催。現在、京都市東山区にて制作。

2024年3月より1階「ペストリー&ブティック フォション」にて作品展示開始予定

▶2024年3月より1階「ペストリー&ブティック フォション」にて作品展示開始予定

<作品一例>

